

おじいちゃん おばあちゃんの 玉てばこ

7月24日～26日、8月1日・2日の5日間、図書館おはなしのへやで「おじいちゃん おばあちゃんの玉てばこ」が開催されました。

これは、おじいちゃん先生、おばあちゃん先生が子供たちに昔話をしたり、昔の遊びを教えたりするもの。7月26日は、おじいちゃん先生の矢野勝一さんが「さるかに」と「桃太郎」の絵本の読み聞かせを行い、子供たちは熱心に聞き入っていました。



足袋蔵昔体験セミナー

8月3日・4日の2日間、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークによる「足袋蔵昔体験セミナー」が開催されました。

今年で13回目となるこのイベントに、小学4～6年生の18人が参加。日本遺産の構成資産である牧禎舎に宿泊し、昭和初期の遊びや生活を体験しました。また、初日の夕方に牧禎舎で行われたうどん打ち体験では、子供たちが生地を麺棒で伸ばし、それを慎重に包丁で切っていました。手間暇かけて自分たちで作ったうどんを、夕食時にみんなでおいしそうに食べていました。



第11回絵手紙合同会員展

7月27日～29日の3日間、コミュニティセンターみずしろで「第11回絵手紙合同会員展」が開催され、市内の10団体の会員の作品1099点が展示されました。

絵手紙には、季節の花や果物などの絵柄とともに自分の思いがこめられた他、市制施行70周年を迎えたお祝いの言葉や70年前の生活の様子も添えられました。来場者は、個性豊かな作品を一つ一つ楽しみながら鑑賞していました。



行田市移住者交流会

7月27日、渡柳地内の片山農場で、本市に移住したばかりの方や移住に興味がある方を対象にした移住者交流会が開かれました。

自身も移住者である片山隆士さんの指導のもと、夏野菜の収穫体験や採れたて野菜を使ったランチを楽しみながら、交流を深めました。参加者からは「行田産の野菜がとてもおいしいことを知った」「のどかな地域である行田市に移住を検討したい」などの感想が寄せられました。



第26回市民祭・行田浮き城まつり

7月27日・28日の2日間、「第26回市民祭・行田浮き城まつり」が開催されました。

28日は、日が暮れ始めた頃に「浮き城だんべ踊り」がスタート。25の連の参加者らは、おそろいの衣装に身を包み、息の合った踊りを披露しました。そして、祭りのフィナーレを飾る6台の山車による叩き合いでは、威勢の良い掛け声や笛や太鼓の祭りばやし、行田の夏の夜空に響き渡っていました。



市役所ロビーコンサート

7月22日、市役所玄関ロビーでロビーコンサートが開催されました。

この日は行田アンサンブル協会の富山宏基さん（バイオリン）、細川慎二さん（サクソ）、矢澤知嘉子さん（ピアノ）が「津軽海峡・冬景色」や「ワイルドスタリオン」など7曲を演奏。心地よい音色に聴きほれていた観客からは大きな拍手が送られていました。



少年少女日中将棋交流対局

8月4日、中央公民館で少年少女日中将棋交流対局が行われました。

これは行田市将棋連盟が将棋を学んでいる日本と中国の子供たちに交流を深めてもらおうと催したもの。市内外から集まった18人の子供たちは、来日した上海許建東将棋倶楽部と北京将棋倶楽部の生徒らと対局を行いました。日中合わせて47人の参加者は、将棋を通じて両国の友好を育みました。

